

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第6部門第2区分
【発行日】平成17年4月14日(2005.4.14)

【公表番号】特表2004-512555(P2004-512555A)
【公表日】平成16年4月22日(2004.4.22)
【年通号数】公開・登録公報2004-016
【出願番号】特願2002-536613(P2002-536613)
【国際特許分類第7版】

G 0 3 F 7/32

G 0 3 F 7/00

【F I】

G 0 3 F 7/32

G 0 3 F 7/00 5 0 3

【手続補正書】

【提出日】平成15年6月16日(2003.6.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

水、

バッファー

0.5乃至15重量%の有機溶媒又は有機溶媒の混合物、及び

分散剤の活性成分の重量で0.3乃至8.0重量%の有機分散剤又は有機分散剤の混合物

—

を含む、リソグラフ印刷版の現像液として有用な組成物。

【請求項2】

前記分散剤が、一官能性オレオアルキレンオキシドブロックコポリマー類、部分的に中和されたアセトホスホン酸アミン塩類及びカルボン酸ポリマー類からなる群より選択される、請求項1記載の組成物。

【請求項3】

(A) 現像液中に分散可能なポリマー物質を含み、インキ受容性であるトップ層；

現像液中に、溶解可能又は分散可能なポリマー物質を含む下地層；及び

親水性基材

をこの順に備えた、画像形成可能なエレメントを準備する工程；

(B) 画像形成可能なエレメントを熱で露光して、露光領域と非露光領域を含む画像状に露光した画像形成可能なエレメントを作製する工程；及び

(C) 画像状に露光した画像形成可能なエレメントに、請求項1又は2の現像液を塗布し、画像形成可能なエレメントの露光領域を除去し、画像を形成する工程を含む、画像形成方法。